

2011年度(平成24年3月期)
第3四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社
2012年2月3日

経営成績

金額単位：億円

	10年度3Q	11年度3Q	前年同期比		
			増減額	増減率	
					内、為替差
売上高	2,808	2,652	△ 156	△ 84	△ 5.6 %
売上原価	837	740	△ 98	△ 10	△ 11.7 %
売上総利益	1,971	1,912	△ 58	△ 74	△ 3.0 %
販売費及び一般管理費	1,700	1,689	△ 11	△ 99	△ 0.6 %
販売費・一般管理費	1,237	1,282	45	△ 80	3.7 %
研究開発費	463	407	△ 56	△ 20	△ 12.1 %
営業利益	271	223	△ 47	25	△ 17.5 %
経常利益	262	220	△ 42		△ 16.2 %
特別損益	△ 22	△ 24	△ 1		—
法人税等	92	93	1		—
四半期純利益	148	103	△ 45		△ 30.5 %

セグメント別売上高

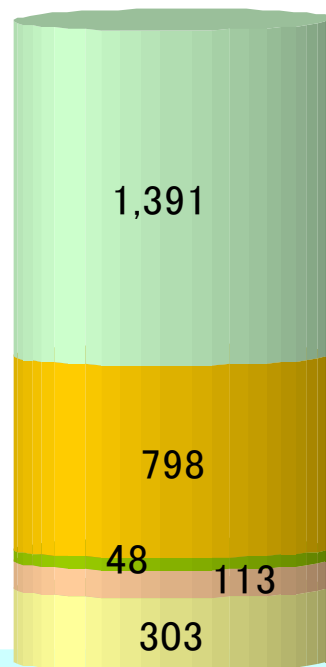
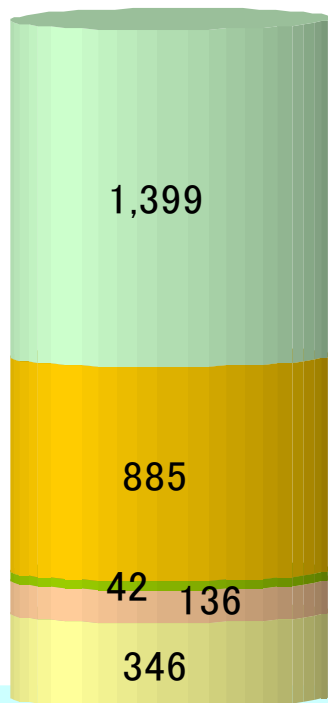
金額単位：億円

10年度3Q
2,808

11年度3Q
2,652

増減額
△ 156

増減率
△ 5.6%



日本 △ 7 △ 0.5%

北米 △ 87 △ 9.9%

中国 5 12.7%

海外その他 △ 23 △ 17.2%

その他 △ 44 △ 12.6%

海外売上高比率

38.0 %

36.3 %

【北米】円高の影響を受け減収

【海外その他】メロペン輸出の減少等

【その他事業】ペットフードの売上減少(2010年7月から売上計上額を手数料相当部分のみとしたため)

日本セグメントの売上高

金額単位: 億円

	10年度3Q	11年度3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
アバプロ	61	86	25	40.6 %
ロナセン	68	78	9	13.9 %
プロレナール	115	121	6	5.0 %
戦略品 計	244	284	40	16.4 %
トレリーフ	27	40	14	51.1 %
ミリプラ	12	10	△ 2	△ 14.5 %
シュアポスト	—	1	1	—
メトグルコ(メルビン含)	35	61	26	74.8 %
新製品 計	74	113	39	52.8 %
アムロジン	327	282	△ 45	△ 13.8 %
ガスモチン	160	163	3	1.7 %
メロペン	99	96	△ 3	△ 3.1 %
アムビゾーム	35	35	△ 0	△ 1.2 %
リプレガル	44	70	25	56.6 %
その他	414	349	△ 65	△ 15.7 %
日本セグメント	1,399	1,391	△ 7	△ 0.5 %

11年度(10/31公表)	
売上予想	進捗率
115	74.5 %
110	70.5 %
155	78.1 %
380	74.8 %
54	74.8 %
14	72.3 %
2	32.2 %
82	75.0 %
152	74.1 %
355	79.5 %
210	77.7 %
110	86.9 %
45	77.5 %
89	78.2 %
461	75.7 %
1,802	77.2 %

(注) 品目別の売上高は、国内売上高をリベート控除前で記載しております。

北米・中国セグメントの売上高

金額単位：億円
(カッコ内の数字は百万ドル)

	10年度3Q		11年度3Q		前年同期比		
					増減額		増減率
ラツータ	—		(48)	39	(48)	39	—
ルネスタ	(466)	417	(404)	326	(△ 62)	△ 91	△ 21.9%
ゾペネックス	(307)	274	(302)	243	(△ 4)	△ 31	△ 11.2%
ブロバナ	(77)	69	(92)	74	(15)	5	7.4%
オムナリス	(40)	36	(48)	39	(8)	3	7.3%
工業所有権収入	(59)	53	(56)	45	(△ 3)	△ 8	△ 15.1%
その他	(40)	36	(40)	32	(△ 0)	△ 4	△ 10.8%
北米セグメント	(989)	885	(990)	798	(1)	△ 87	△ 9.9%
メロペン		37		40		3	9.5%
その他		6		8		2	33.6%
中国セグメント		42		48		5	12.7%

11年度 (10/31公表)		
売上予想		進捗率
(90)	72	53.9%
(533)	428	76.1%
(410)	330	73.8%
(123)	99	75.0%
(66)	53	73.2%
(65)	53	84.4%
(61)	49	65.0%
(1,348)	1,084	73.6%
	56	71.7%
	10	75.9%
	66	72.3%

北米セグメントの内訳

金額単位：億円
(カッコ内の数字は百万ドル)

<特許権・のれんの償却費等を除く>

	10年度3Q		11年度3Q		増減額	
売上高	(989)	885	(990)	798	(1)	△ 87
売上原価	(101)	90	(99)	80	(△ 2)	△ 10
売上総利益	(888)	794	(890)	717	(3)	△ 77
販売費・一般管理費	(492)	440	(632)	509	(140)	69
セグメント利益	(396)	354	(258)	208	(△ 137)	△ 146

増減内訳	
為替差	為替差以外
△ 84	△ 3
△ 10	△ 0
△ 74	△ 3
△ 57	125
△ 18	△ 128

<特許権・のれんの償却費等>

	10年度3Q		11年度3Q		増減額	
売上高	—	—	—	—	—	—
売上原価	(38)	34	—	—	(△ 38)	△ 34
売上総利益	(△ 38)	△ 34	—	—	(38)	34
販売費・一般管理費	(268)	240	(260)	210	(△ 8)	△ 30
セグメント利益	(△ 306)	△ 274	(△ 260)	△ 210	(45)	64

増減内訳	
為替差	為替差以外
—	—
—	△ 34
—	34
△ 23	△ 7
23	40

セグメント別経営成績

金額単位：億円

		医薬品事業					合計	その他	連結	
		日本	北米※1	償却費等※2	中国	海外その他				
11 年度 3 Q 実績	売上高(外部顧客向け)	1,391	798	—	48	113	2,349	303	2,652	
	売上原価	355	80	—	15	57	507	233	740	
	売上総利益	1,038	717	—	33	55	1,844	68	1,912	
	販売費・一般管理費	493	509	210	24	2	1,239	43	1,282	
	セグメント利益	545	208	△ 210	9	53	605	25	630	
	研究開発費							402	5	407
	営業利益							203	20	223

10 年度 3 Q 実績	売上高	1,399	885	—	42	136	2,462	346	2,808	
	売上原価	366	90	34	9	61	560	278	837	
	売上総利益	1,034	794	△ 34	33	75	1,903	67	1,971	
	販売費・一般管理費	490	440	240	19	3	1,192	45	1,237	
	セグメント利益	544	354	△ 274	14	73	712	22	734	
	研究開発費							458	5	463
	営業利益							254	17	271

増 減	売上高	△ 7	△ 87	—	5	△ 23	△ 112	△ 44	△ 156	
	セグメント利益	1	△ 146	64	△ 5	△ 19	△ 106	3	△ 104	
	研究開発費							△ 56	△ 0	△ 56
	営業利益							△ 51	3	△ 47

※1. 特許権・のれんの償却費等を除く

※2. 特許権・のれんの償却費等

経常利益および当期純利益

金額単位: 億円

	10年度 3Q	11年度 3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
営業利益	271	223	△ 47	△ 17.5 %
営業外損益	△ 9	△ 4	5	
金融収支(受取配当金を含む)	△ 1	1	2	
寄付金	△ 10	△ 8	2	
その他	3	4	1	
経常利益	262	220	△ 42	△ 16.2 %
特別利益	—	12	12	
固定資産売却益	—	12	12	
特別損失	22	36	14	
減損損失	22	24	1	
事業構造改善費用	—	12	12	
法人税等	92	93	1	
四半期純利益	148	103	△ 45	△ 30.5 %

【減損損失】 特許権の一部について減損損失

【事業構造改善費用】 ゴペネックス営業体制見直し(人員削減)に伴う費用

2011年度通期 業績予想の総括

■ 売上高

- ✓ 医薬品(日本)は、前回予想をやや上回る。
- ✓ 医薬品(北米)は、前回予想通り。
- ✓ 海外その他(輸出)が、減少。

■ 販売費及び一般管理費

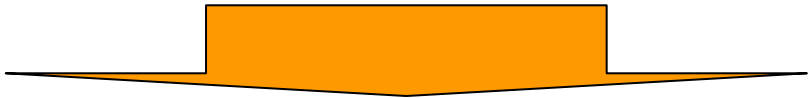
- ✓ 研究開発費を除く販管費は、北米で増加するが全体では前回予想通り。
- ✓ 研究開発費は、前回予想より減少。

■ 営業利益

- ✓ 前回予想より売上総利益がやや増加し、研究開発費が減少することにより増益

■ 当期純利益

- ✓ 特別損失の計上ならびに改正法人税法の影響で、前回予想より減少



前回(10月)発表した業績予想を修正する

2011年度修正業績予想

金額単位：億円

	2010年度	2011年度			
	通期実績	前回予想 (10/31公表)	修正予想 (2/3公表)	増減額	
				(対前期)	(対前回)
売上高	3,795	3,520	3,520	△ 275	—
売上原価	1,100	1,000	995	△ 105	△ 5
売上総利益	2,695	2,520	2,525	△ 170	5
販売費及び 一般管理費	2,385	2,320	2,305	△ 80	△ 15
研究開発費	682	585	570	△ 112	△ 15
営業利益	310	200	220	△ 90	20
経常利益	286	190	220	△ 66	30
特別損益	△ 36	12	△ 24	12	△ 36
当期純利益	168	120	100	△ 68	△ 20
E B I T D A	780	610	640	△ 140	30

2011年度業績予想の内訳 (通期予想比較、セグメント別)

金額単位: 億円

		医薬品事業					合計	その他	合計
		日本	北米*1	特許権・のれんの償却費	中国	海外その他			
前回業績予想	売上高	1,805	1,084	-	66	162	3,117	403	3,520
	売上原価	477	108	-	20	83	688	312	1,000
	売上総利益	1,328	976	-	46	79	2,429	91	2,520
	販売費・一般管理費	665	691	280	36	3	1,675	60	1,735
	セグメント利益	663	285	△ 280	10	76	754	31	785
	研究開発費						577	8	585
	営業利益						177	23	200
今回修正予想	売上高	1,814	1,084	-	66	153	3,117	403	3,520
	売上原価	475	111	-	19	78	683	312	995
	売上総利益	1,339	973	-	47	75	2,434	91	2,525
	販売費・一般管理費	660	699	277	36	3	1,675	60	1,735
	セグメント利益	679	274	△ 277	11	72	759	31	790
	研究開発費						562	8	570
	営業利益						197	23	220
差異	売上高	9	-	-	-	△ 9	-	-	-
	セグメント利益	16	△ 11	3	1	△ 4	5	-	5
	研究開発費						△ 15	-	△ 15
	営業利益						20	-	20

※1. 特許権・のれんの償却費を除く

2011年度業績予想の内訳(4Q業績予想)

金額単位:億円

	上半期 実績	3Q 実績	3Q 累計 実績	4Q 予想 (今回修正)	通期 前回 (公表)	通期 今回 (公表)
売上高	1,780	872	2,652	868	3,520	3,520
	(28.0%)	(27.8%)	(27.9%)	(29.4%)	(28.4%)	(28.3%)
売上原価	498	242	740	255	1,000	995
売上総利益	1,283	630	1,912	613	2,520	2,525
販売費及び 一般管理費	1,135	554	1,689	616	2,320	2,305
販売費・ 一般管理費	862	420	1,282	453	1,735	1,735
研究開発費	273	134	407	163	585	570
営業利益	(8.3%) 147	(8.7%) 76	(8.4%) 223	(-0.4%) △3	(5.7%) 200	(6.3%) 220

北米セグメントの4Q売上速報

金額単位：M\$

	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q (速報)	通期予想 (10月予想)	通期予想 (実績速報)	差異 (10月 VS速報)
ラツーダ	35	6	7	38	90	86	△4
ルネスタ	124	138	143	123	533	528	△5
ゾペネックス	137	80	86	117	410	419	9
ブロバナ	33	29	30	35	123	127	4
オムナリス	16	18	14	16	66	64	△2
アルベスコ	9	9	8	10	35	35	0
工業所有権収入	23	17	14	17	65	72	7
その他	7	3	5	14	26	28	1
合計	385	300	305	369	1,348	1,359	11

臨床開発の現況① (2012年2月3日現在)

精神神経領域

国内 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
ラゾーダ (SM-13496)	ルラシドン塩酸塩	統合失調症	カナダ				
		(上限用量変更)統合失調症:1日160mg	米国				
		統合失調症	日本				
		(新効能)双極性障害うつ	米国・欧州等				
		(新効能)双極性障害メンテナンス (新効能)大うつ(混合症状)	米国・欧州等 米国				
ステデサ	エスリカルバゼピン塩酸塩	てんかん(併用)	米国				
		てんかん(成人単剤)	米国				
ロナセン	プロナンセリン	統合失調症	中国				
		(小児用量)統合失調症	日本				
DSP-8658	未定	アルツハイマー病	米国				
SEP-228432	未定	神経因性疼痛、うつ病	米国				
DSP-1053	未定	うつ病	米国				
DSP-0565	未定	てんかん	米国				

ラゾーダ(SM-13496): 欧州は武田薬品との共同開発実施中(第Ⅲ相試験段階: 統合失調症、双極性障害)。

がん領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
カルセド(国内販売名)	アムルビシン塩酸塩	小細胞肺癌	中国				
WT4869	未定	骨髄異形成症候群	日本		※		
		固形がん	日本				

今回変更部分は赤字で示しています

※第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅰ相段階

臨床開発の現況② (2012年2月3日現在)

呼吸器領域

■ 国内 ■ 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
シクレソニド Nasal Aerosol (販売名: ZETTONA™)	シクレソニド	(新剤形: HFA製剤) アレルギー性鼻炎	米国				
DSP-3025	未定	気管支喘息、アレルギー性鼻炎	日本				

循環器・糖尿病領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
DSP-8153	アムロジピンベシル酸塩 イルベサルタン	高血圧症／配合剤	日本				
シュアポスト	レパグリニド	(新効能) 2型糖尿病: TZD剤、BG剤併用	日本				
メグルコ	メホルミン塩酸塩	(小児用量追加) 2型糖尿病	日本				
AS-3201	ラニレスタット	糖尿病合併症	日本				
DSP-8658	未定	2型糖尿病	米国				

その他の領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
SMP-986	afacifenacin fumarate	過活動膀胱	日本				
			米国・欧州				
プロレナール	リマプロストアルファデクス	(新効能) 手根管症候群	日本				
DSP-1747	obeticholic acid	原発性胆汁性肝硬変(PBC)、 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)	日本				
DSP-6952	未定	便秘型IBS、慢性便秘	日本				
DSP-5990	セフトロリン・フォサミル	MRSA感染症	日本				

今回変更部分は赤字で示しています

臨床開発 進捗状況 (2011年10月31日からの主な変更点)

- シクレソニド Nasal Aerosol (新剤形:HFA製剤、販売名: ZETONNA™)
 - FDAから承認取得したアレルギー性鼻炎治療剤(2012年1月承認)
 - 新しいHFA(代替フロン)形式の鼻腔用ドライスプレー剤
- DSP-8153
第Ⅱ相から申請中に変更(2011年11月申請)
- ラニレスタット(AS-3201)
第Ⅲ相準備中から第Ⅲ相に変更
- ブロナンセリン(国内販売名「ロナセン」)
 - 中国: 第Ⅲ相に新規掲載
 - 国内(小児用量追加): 第Ⅲ相に新規掲載
- セフトロリン・フォサミル(DSP-5990)
第Ⅰ相準備中から第Ⅰ相に変更
- DSP-0565
第Ⅰ相(米国)に新規掲載
 - 新規メカニズムを有する抗てんかん剤
 - 治療抵抗性てんかん・様々な発作型に対して有効で、中枢抑制性副作用が弱く、抗うつ様作用を示すことを期待

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況①

米国（統合失調症）

- 上限用量追加(1日160mg)申請中(2011年6月申請)
- 継続中の主な試験
 - PEARL 3継続投与試験: プラセボ及び実薬(クエチアピンXR)対照第Ⅲ相試験の継続投与試験(1年)のデータを発表(2011年10月)
 - スイッチ試験: 2010年3Q開始。終了、データ解析中
 - メンテナンス試験: 2011年3Q開始、実施中
- 計画中の試験
 - 20mg/日の低用量試験: 2012年3Q開始予定
 - 小児(10-17歳)対象のPK試験: 2012年3Q開始予定
 - 小児(13-17歳)対象の有効性試験: 2013年1Q開始予定

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況②

米国(双極性障害 他)

■ 双極性障害(うつ) 第Ⅲ相試験(PREVAIL試験)

- PREVAIL#1: プラセボ対照試験-併用療法(リチウム/バルプロ酸に追加投与) 2009年4月開始
- PREVAIL#2: プラセボ対照試験-単剤療法 2009年4月開始
- PREVAIL#3: プラセボ対照試験-併用療法(リチウム/バルプロ酸に追加投与) 2010年12月開始

2012年、適応追加申請予定

■ 双極性障害メンテナンス

- 2011年2Qに第Ⅲ相試験を開始

■ 大うつ(混合症状)

- 2011年2Qに第Ⅲ相試験を開始

■ 計画中の試験

- IMデポ剤

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況③

米国以外

- 日本： 統合失調症/新規第Ⅲ相試験を準備中
- カナダ： 統合失調症/申請(2011年6月)
- 中国： 統合失調症/IND(治験届け)提出(2011年9月)
- 欧州： 統合失調症・双極性障害/武田薬品と共同開発実施中(第Ⅲ相試験段階)。

英国は自社展開を検討

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。